

長崎港活性化対策について

2025年11月17日

長崎市議会長崎港活性化対策特別委員会
(公財)日本海事センター上席研究員 野村摂雄

1. 自己紹介



- 神奈川県横浜市在住(1974年生)
- 学歴:
 - 神奈川県私立桐蔭学園高校～上智大学法学部国際関係法学科～上智大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(環境法専攻)
- 職歴:
 - 2005年上智大学大学院助手、2006年上智大学法学部助手
 - 2006年明治学院大学法学部兼任講師(今に至る)
 - 2006年千葉県警察学校外部講師ほか大学・大学院非常勤講師
 - 2007年日本海事センター研究員(今に至る)
- 海事関連の主な調査研究テーマ
 - 海運税制・海運強化策
 - 船員教育・海技資格制度
 - 長崎:「各県別海事産業の経済学:長崎県」(2011年度)、第24回海事立国フォーラム(2018年10月16日)

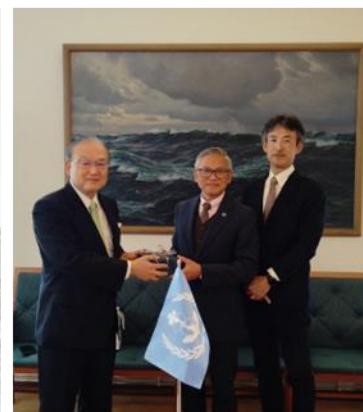
2. 公益財団法人日本海事センター



- 海事分野の中核的な公益財団法人
 - 1964年日本海事財団設立、日本海運振興会設立
 - 2007年に統合して「日本海事センター」設立
- 目的・機能
 - 国内外の動向に的確に対応しつつ、日本の海事産業の振興
 - 専門的な研究調査
 - 産・官・学連携のプラットフォームの役割
 - 海事関係団体の公益活動に対する助成
 - 海事図書館の運営:国内外の図書約33,000 冊、雑誌約800 種以上



海事図書館



写真左から:第35回海事立国フォーラム、国際海事機関(IMO)事務局長との面談、世界海事大学(WMU)学長との面談、韓国海洋水産開発院(KMI)他との第2回交流セミナー

3. 貴委員会での議論について



3. 1. 「長崎港周辺整備の経過と今後の計画について」令和7年5月

「ベイエリアの現状について」令和7年6月

- 長崎港の概要
- 長崎港周辺整備の経過
- 今後の計画
- 「アーバンルネッサンス構想2001」
 - 基本理念: 人間環境都市、高次産業都市、平和交流都市
- 長崎港内港再開発事業
 - 人・モノの交流拠点
 - 港らしい雰囲気
 - 新たな賑わいの創出

3. 貴委員会での議論について



3. 2. 「貿易の現状と課題」令和7年8月

- ・ 貿易の歴史
- ・ コンテナ助成
- ・ コンテナ貿易量: 輸入超過、輸出減少傾向
- ・ 人材育成
- ・ 神戸港と連携した助成の実施

3. 3. 「クルーズ船受入態勢の強化について」令和7年9月

- ・ 松が枝国際ターミナル: 入国審査最大20ブース
- ・ 乗客の上陸観光の傾向
- ・ 周遊促進・消費拡大
- ・ オーバーツーリズム
- ・ 佐世保港では寄港数が増加

3. 貴委員会での議論について



3. 3. 「カーボンニュートラルの推進について」令和7年10月

- ・ ゼロカーボンシティ宣言
- ・ ポテンシャル(関連企業が集積) ⇔ カーボンニュートラル(成長のエンジン)
- ・ 関連補助金
- ・ GX推進事業費補助金
- ・ チャレンジ企業応援補助金
- ・ 海洋産業人材育成支援費補助金
- ・ カーボンニュートラルポート

4. 私見

4. 1. 物流

- コンテナ航路維持
 - ✓ 輸出促進策: 定期的輸出を行う荷主、航路選択主体としてのフォワーダー
- コンテナ補助
 - ✓ 有効性の検証: 市財政、立地、各主体(荷主、フォワーダー、船社)への訴求力
- 港湾労働者
 - ✓ 人手確保

4. 2. 客船

- 大型化対策
 - ✓ 潮位次第: シンボリックな実績作り
- 地元消費喚起
 - ✓ 寄港回数より市への経済効果重視

4. 私見

4. 3. カーボンニュートラル

- 電気のみならず新燃料を視野に
- 港湾の本来的役割: 市内及び市外へのハブ

4. 4. 後背地としての長崎市及び長崎市周辺

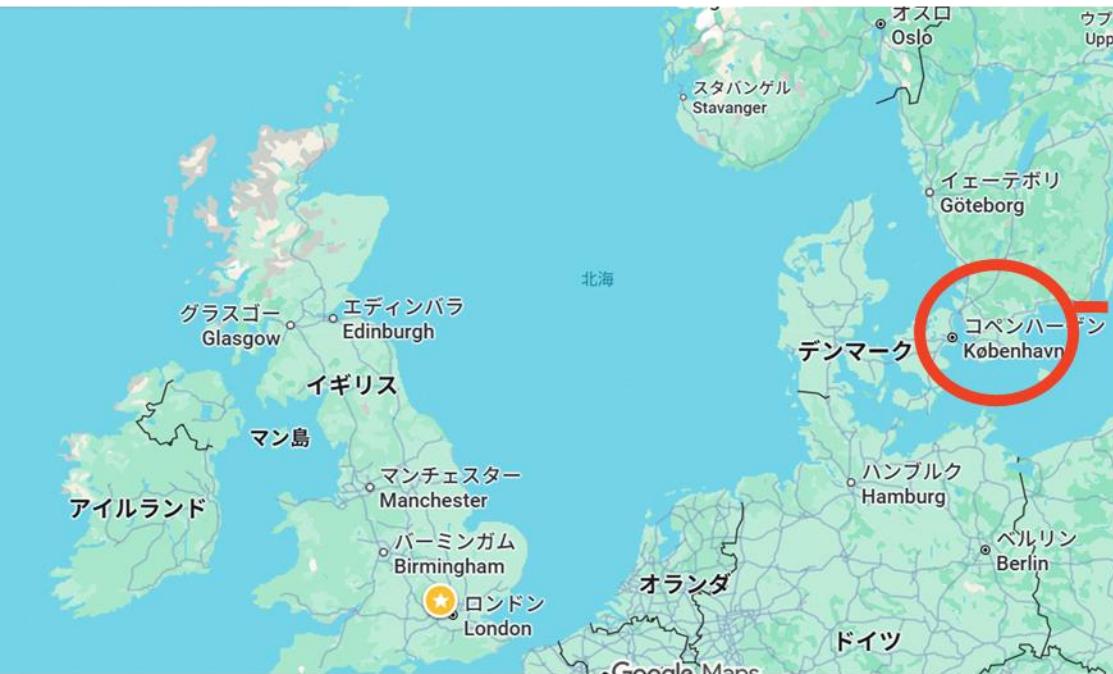
- 港湾の活性化に繋がる長崎市の活性化
 - ✓ 市内外利用者の増加: 市内利用者(居住企業・居住者)の増加
- 魅力あるコンテンツ
 - ✓ 世界に知られた歴史: 現代(時代・流行・技術)との組み合わせ
 - ✓ 頭抜けた企画: 実証事業、海外との連携、国内地域間の連携
 - ✓ 海事クラスター: 水産業の存在

(了)

「長崎入港の際、眼前に展開する景色ほど美しいものは、またこの世界にあるまいと断言しても、あながち過褒ではあるまい」
ファン・カッテン・ディーケ『長崎海軍伝習所の日々』(平凡社、一九八九年)

参考:マルメ市

- ・ スウェーデン南東部:首都ストックホルムから約512km
- ・ 同国第3の都市:2024年末時点で人口36.6万人(2035年見込み39.5万人)、47%が35歳以下、国籍187か国、面積約156.6km²。
- ・ デンマーク首都のコペンハーゲンからオーレン・リンク(海上橋・海底トンネル、道路鉄道併用、全長16km)を経由して電車で約30分



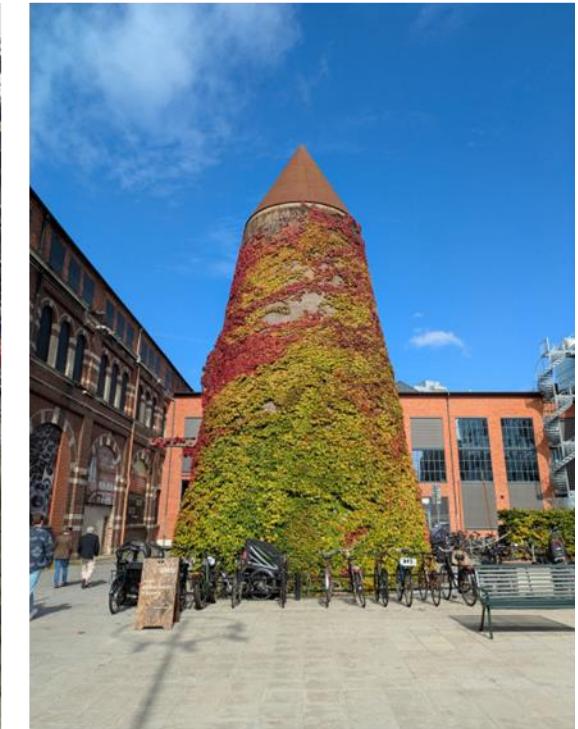
参考:マルメ市2



上:マルメ中央駅(2025年撮影)、
下:世界海事大学(2025年撮影)



ウォーターフロント(上:2025年撮影、
下:2024年撮影)



左:ドック跡(2023年撮影、
上:防空壕(2025年撮影)



参考: その他の港エリア



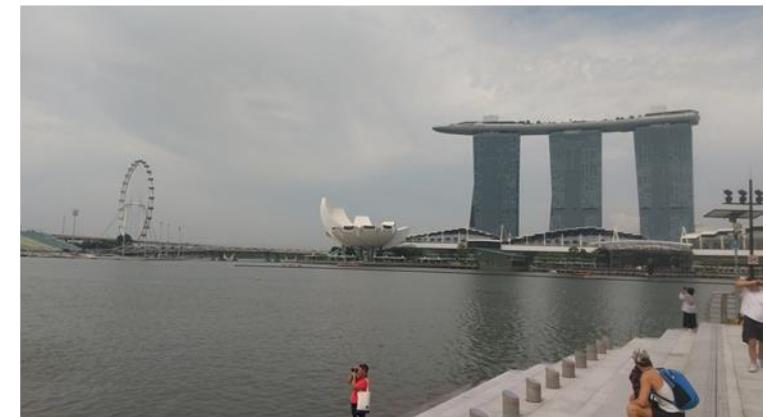
オスロ・オペラハウス(2023年撮影)



リヴァプール・海商都市地区(2023年撮影):2004年世界遺産登録、2021年同登録抹消



コペンハーゲン・図書館の外観・閲覧室(2023年撮影)



シンガポール・マリーナベイサンズ(2023年撮影)

参考:移動手段



ムンバイ・リキシャ(三輪バイク)(2025年撮影)



北京・レンタル自転車(2025年撮影)



ストックホルム・電動
キックボード(2025年
撮影)



マニラ・ジプニー(2024年撮影)